

上引きフード 取扱説明書

機種名: SV まるっとくん

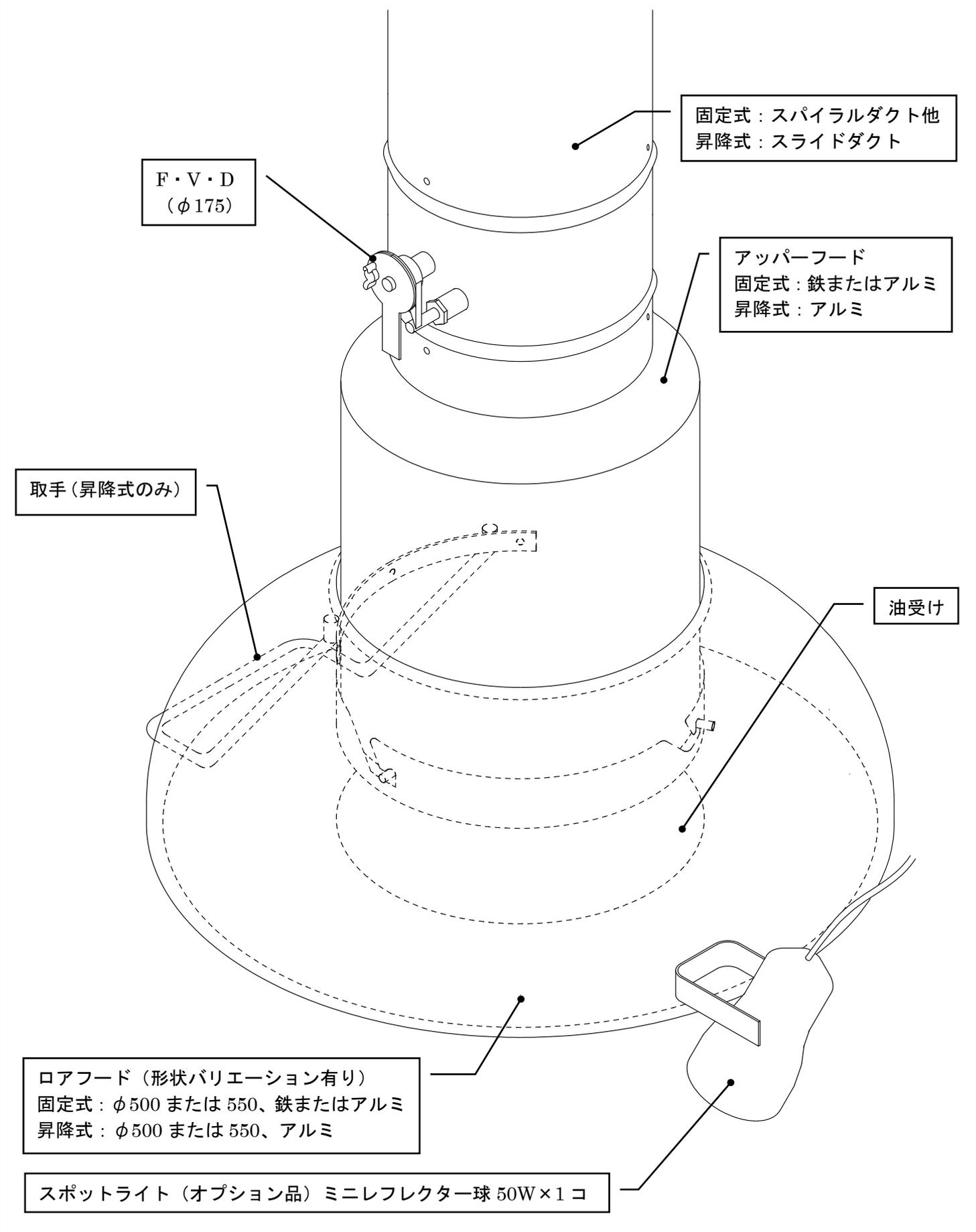
形式名: G91N1N1

このたびは、シンポの製品をお買い求めいただきまことにありがとうございました。

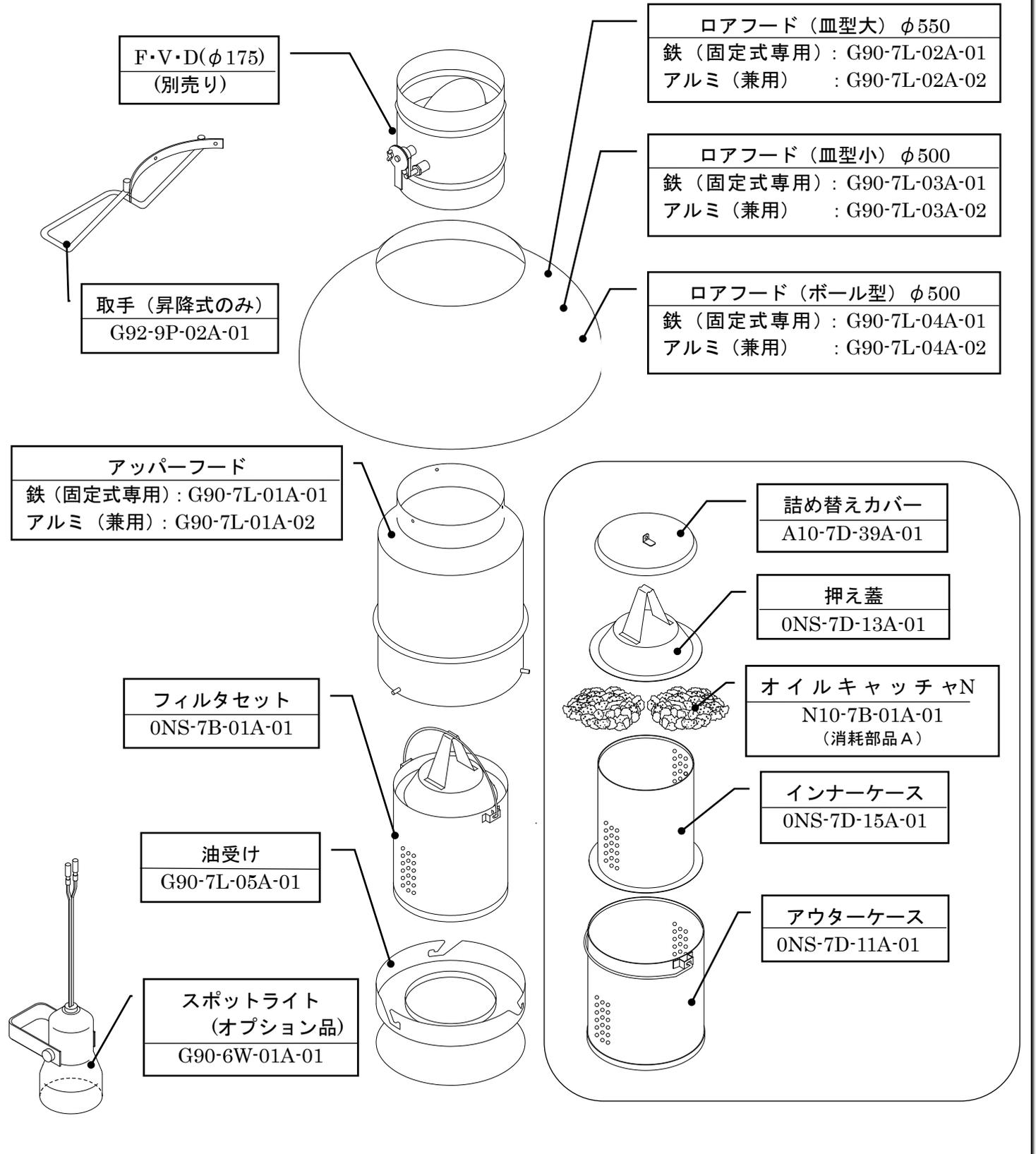
- ご使用前に、この『取扱説明書』を必ず最初から順番にお読みのうえ、器具を正しくお使いください。
- お読みになったあとは『保証書』とともに、いつでもすぐ取り出せるところに大切に保管してください。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げのお店または、当社までお尋ねください。

も く じ	◆製品各部の名称	1
	◆部品・付属品の名称	2
	◆安全に正しくお使いいただくために	3
	◆製品仕様	5
	◆ご使用前の準備	6
	◆日常の点検・手入れ	7
	◆F.V.D 温度ヒューズの交換方法	8
	◆故障・異常の見分け方と処置方法	9
	◆離隔距離について	10
	◆アフターサービスについて	11
	◆部材品 FAX シート	12

製品各部の名称



部品・付属品の名称



ご注文の際は機種名・部品名称・部品番号を、お知らせください

消耗部品AまたはBについての詳細は、本書『アフターサービスについて』を参考にしてください

部品名称
部品番号
(消耗部品 A または B)

安全に正しくお使いいただくために

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この『取扱説明書』および製品には、いろいろな絵表示がされています。
その表示と意味は下記のようになっていますので、内容をよく理解してから本文をお読みください。

	危険	この表示を無視して誤った使い方をすると、使用者が死亡または重症(注1)を負う危険が切迫して生じることが想定される場合を表しています。
	警告	この表示を無視して誤った使い方をすると、使用者が死亡または重症(注1)を負う可能性が想定される場合を表しています。
	注意	この表示を無視して誤った使い方をすると、使用者が障害(注2)を負う可能性が想定される場合、および物的損害(注3)の発生が想定される場合を表しています。

注1 重症とは、失明・けが・火傷(低温・高温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療のために入院や長期の通院を要するものをいいます。

注2 障害とは、治療のために入院や長期の通院を要さない、けが・火傷・感電などをいいます。

注3 物的損害とは、家屋および家畜・ペットに関わる拡大損害をいいます。

絵表示については、次のような意味があります。

	一般的な禁止		火気禁止		接触禁止		分解禁止
	一般的な注意		必ず行う		コンセントから電源プラグを抜く (100Vまたは200Vを電源に使用している機種のみ)		

◆本機は業務用として作られています。ご家庭では使用しないでください。

警告

	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 火のついた肉片や野菜などの食材、タバコの吸い殻などの異物は、煙の吸い込み穴に絶対に入れないでください。また機器が汚れたままで使用しないでください。火災の原因になります。 ▼ 機器にぶらさがったり、必要以上の荷重をかけないでください。けがや機器の故障・損壊、または思わぬ事故の原因になることがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 排気ファンの吹き出し口周辺に可燃物を置かないでください。また機器の周辺ではガソリン・ベンジン・スプレーなどの引火する恐れのあるものは使用しないでください。火災・火傷の原因になります。


警告


- ▼ ご使用中に煙の吸込み口付近には手を触れないでください。吸込み口付近は高温になっている場合があるため、火傷の恐れがあります。
- ▼ 使用直後の各部品には手を触れないでください。火傷の恐れがありますので、温度が下がってから、お手入れしてください



- ▼ 機器の分解をしないでください。故障・異常または感電・けがの原因になることがあります。



- ▼ それぞれの機器に適合した電源以外は使用しないでください。正常な作動が得られないだけでなく、思わぬ事故の原因になります。
- ▼ 電源プラグとコンセントを一年に一回は定期的に清掃・点検してください。長期間放置しておくとホコリが溜まり、そのままの状態で使用を続けると、火災や感電の原因になることがあります。
- ▼ 食材の加熱・調理による油煙処理以外には使用しないでください。思わぬ事故の原因になることがあります。
- ▼ 機器の純正品および当社の指定品以外は使用しないでください。機器の破損の原因になります。



- ▼ 必ず上引きフード用の排気ファンを正常に運転させて使用してください。機器本体が高温になり火災・火傷の原因になります。また屋内に煙が充満し空気中の酸素が減少するため、使用者の体内に悪影響を及ぼします。



- ▼ 電源プラグをコンセントから抜くときは電源コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると切れたり傷がついたりして火災や感電の原因になることがあります。

製品仕様

【フード部】

機種名	SV	品名	まるっとくん
吸込風速	2.9m/s(油受け最下端)		
必要排気風量	8.5 m ³ /min		
冷房負荷	5.04Kw 算出条件①外気:温度 31℃、湿度 75%・室内:温度 26℃、湿度 50% ②焼き物器による輻射熱は含まず。		
必要機内静圧	250Pa (オイルキャッチャ交換、清掃時)		
照明仕様 (オプション品)	スポットライト(ミニレフレクター球)単相 AC100V50W(50/60Hz)		
照明用電気接続	差込み型ピン端子・コンセントプラグ ※器具側にスイッチはありません。電源供給側にて設けてください。		
製品重量	6.4Kg (材質:アルミ、F・V・D 含む、ダクト部・オプション品含まず)		
安全装置	F・V・D(φ175)		
付属品	オイルキャッチャ(220g 入り) 2 袋 / 1 台		

【スライドダクト部】(※オプション品となります)

機種名	SV-UDR
操作方法	手動昇降式
昇降幅	270 mm
停止位置	4 段階昇降式(最上端・最下端+100mm・最下端+50mm・最下端)
最大吊下げ荷重	9.1Kgf
据付条件	天井高 2700mm 以上

据付手順・ご使用前の準備

※据付(ダクト工事含む)に関しましては原則として弊社にて施工させていただきますが、専門業者様による施工に限り、お客様にて据付していただいても結構です。但し、お客様施工に起因する煙捕捉低下・落下事故等につきましては弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。また本書ではダクト工事および付随する設計施工等につきましては割愛させていただきます、上引きフード器具(F・V・D から下の各部品)に関する取付についてご説明いたします。

◆据付手順について(1,2 ページをご参照ください。尚下記は固定式、オプション装着なしの場合です。)

1. 下がりダクト内側に F・V・D を差込み、リブが当たったところでタッピンねじ等にて固定してください。この際、最低 3 本のねじを打ち込んでください。
2. アッパーフード上方よりロアフードを被せ、そのままアッパーフードを F・V・D 外側に差込み、リブに当たったところでアッパーフード取り付け穴(3カ所)を狙ってタッピンねじ等にて固定してください。
3. フィルタセットにオイルキャッチャを入れてください。
 - ①押え蓋をはずして、詰め替えカバーをインナーケースに取り付けてください。
 - ②オイルキャッチャを袋から出して、入れてください。(必ず 2 袋全て入れてください。)
 - ③詰め替えカバーをはずして、押え蓋を取り付けてください。
4. フィルタセットを油受け上部に乗せてください。この際、フィルタセットが傾かない様にしてください。
5. 4.の状態のまま油受けをアッパーフードに取り付けてください。この際、フィルタセットをぶついたり倒したりしないように、フィルタセット内へ挿入し、油受け上部の J 型切欠きをアッパーフードのボルト(共に 3カ所)に確実に引っ掛けて取り付けてください。
6. 上引きフード用排気ファンのスイッチを操作して排気ファンを正常に運転させてください。
7. 風速の調整をしてください。F・V・D レバーにある蝶ねじを緩めて調整してください。風速計により油受け最下端での風速(約 3m/s)に合わせてレバーの開閉をします。
8. 冷暖房機器・その他空調機器・出入り口等からの送風による横風の油煙捕捉に対する影響を確認してください。油煙が鉛直に上昇せず、フード内より大きく逸脱した場合はその原因を取り除いてください。

◆ご使用前の準備について

▼基本的に日々の清掃後の作業は上記◆据付手順についての 4.~6.の繰り返しとなります。

(清掃については後述「日常の点検・手入れ」参照)

▼上記◆据付手順についての 1.2.7.の作業は原則的に施工時のみとし、3.の作業は 1 ヶ月に 1 度

(ご使用頻度によって変動)、オイルキャッチャの交換時のみとなります。

日常の点検・手入れ

- ▼快適で安全にお使いいただくために、日常の点検・手入れは必ず行ってください
- ▼点検・手入れの前には必ず運転を止め、器具が冷えた状態で行ってください。
- ▼昇降式の場合は必ずロアフード位置を最上端にしたうえで行ってください。

◆点検

(固定式・昇降式共通)

- ①ロアフード、アッパーフード、油受けが汚れたままになっていませんか。
- ②フィルタセットが目詰まりしていませんか。
- ③オイルキャッチャの交換時期になっていませんか。
- ④オイルキャッチャの量は満たされていますか。
- ⑤F・V・Dは閉じていませんか。また羽根の開閉は円滑ですか。
- ⑥各部品は正しく取り付けられていますか。

(昇降式)

- ⑦各部品を正しく清掃・取付し、排気ファンを稼働させた状態で自然下降していませんか。
- ⑧上下操作をして、円滑な動作が得られていますか。また停止位置にて停止していますか。

◆手入れ

- ①油受けの点検・清掃は必ず毎日始業前(もしくは終業後)に行ってください。
 - ▼油受けは、取り外してスポンジ(ザラザラ側)でお湯洗いしてください。また、硬いものにぶついたり落下させたりするとホーローがはがれ腐食の原因となりますので、丁寧にお取扱ってください。
- ②ロアフード、アッパーフードの点検・清掃は必ず毎日始業前(もしくは終業後)に行ってください。
 - ▼ロアフード、アッパーフードは吊り下がった状態で濡れ雑巾などで油分を拭き取ってください。
- ③フィルタセットは、1日に1度は、乾いた雑巾等で表面に付着した油を拭き取ってください。
 - フィルタセット内のオイルキャッチャの交換に関しては、別紙の「オイルキャッチャ交換マニュアル」をご参照ください。
- ④取手(昇降式のみ)は随時、濡れ雑巾などで汚れを拭き取ってください。
- ⑤スポットライト(オプション品)は随時、必ずスイッチを切り完全に冷めた状態で乾いた雑巾などで汚れを拭き取ってください。電球が切れた場合は規定の電球とお取替えてください。
- ⑥昇降に関する不具合発生時は速やかに、お買い求めの販売店または、もよりの当社支店・営業所・出張所へご連絡ください。
- ⑦長年ご使用いただきますとダクト内各所、排気ファンの羽根にグリス分が付着します。1年に1度は点検をし、ダクト内や羽根に付着した油分の除去、または排気ファンのベルトの調整を行ってください。(専門業者に依頼してください)

F.V.D 温度ヒューズの取換方法

■ F.V.D 温度ヒューズの取換方法 上引きフード用 ■

～あれ？1台だけ煙が吸わないな、というときは…～
 防火ダンパー（安全装置）が作動している可能性があります！

FVDとは温度ヒューズ連動防火ダンパー（原量調整機構付）の略
 温度ヒューズの溶断により自動閉鎖します
 機器の排気温度が急激に上昇した場合に自動閉鎖します

ご用意いただくもの

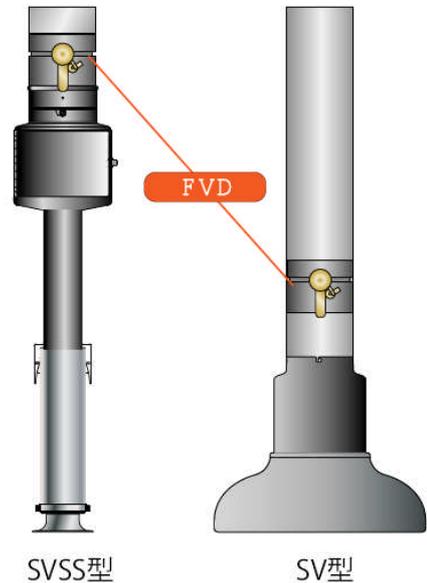


1 中を確認する

機器の中をのぞいてダクトについての
 レバーハンドルの向きを確認してください



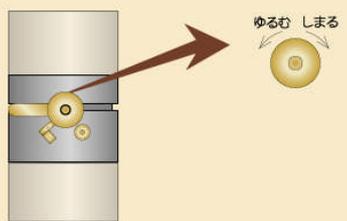
FVD作動中 の場合は下記の手順に従って温度ヒューズを交換してください



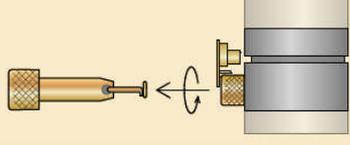
2 FVD温度ヒューズを交換する

熱い場合は冷めてから軍手つけて作業してください

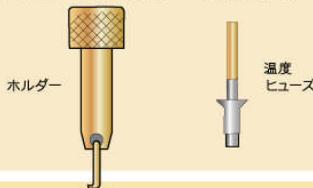
① 丸ネジを緩めてホルダーを引き抜く



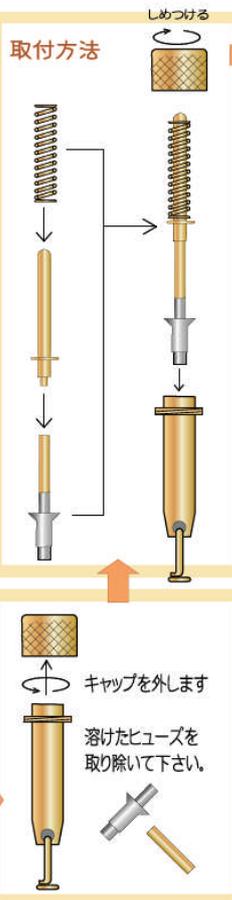
② ホルダーを引き抜く



③ ホルダーに温度ヒューズを取付ける

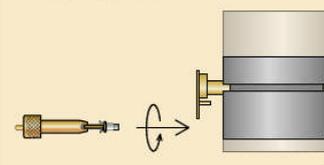


取付方法



こうなります

④ 丸ネジを元の位置に差し込み
 回して締める



⑤ レバーハンドルをダクトと平行に
 なるようにまわす



⑥ カチッ音がしてレバーハンドルが
 固定したら完了！

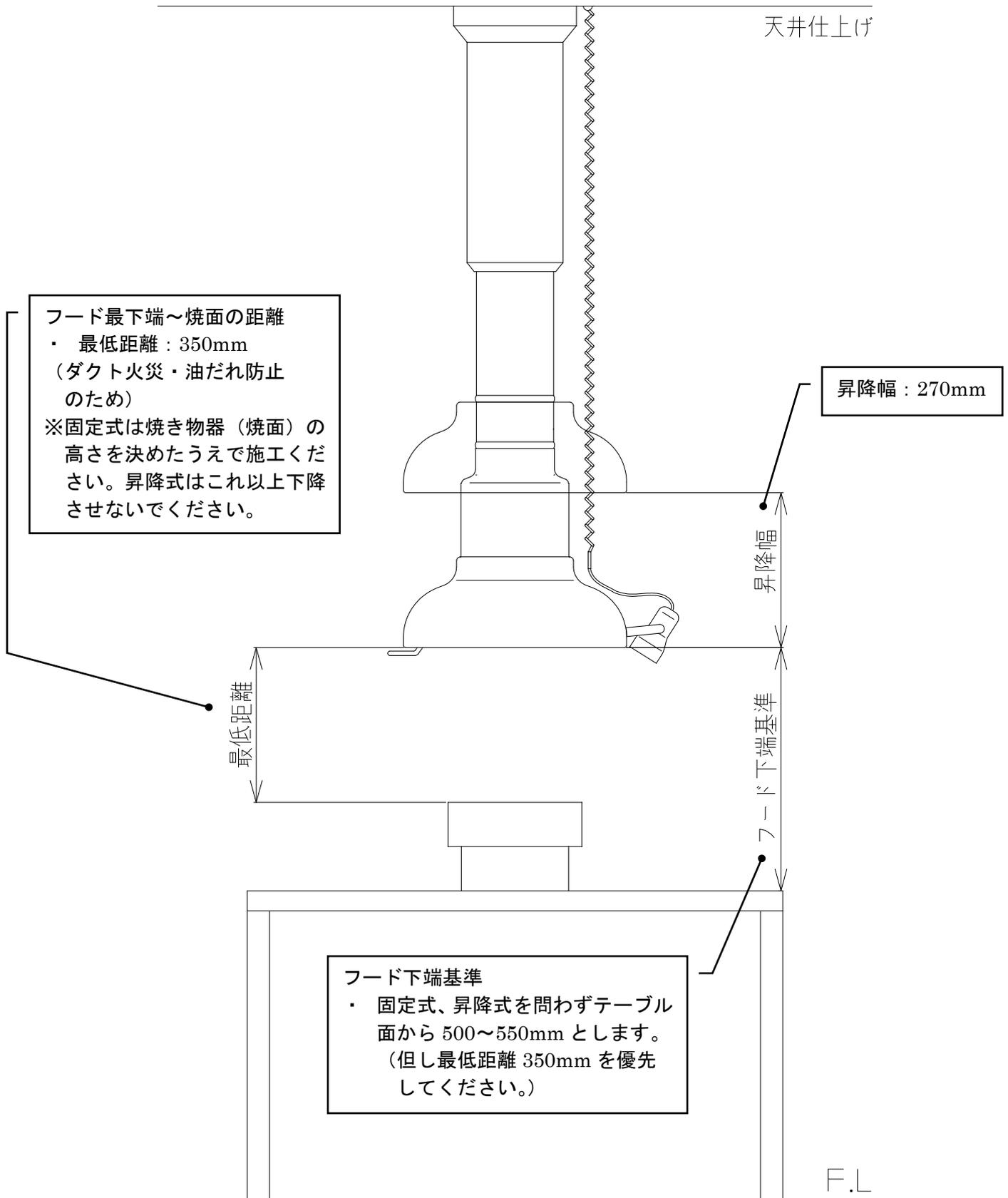


故障・異常の見分け方と処置方法

原因	現象								処置方法
	全く排気しない	煙が一部漏れる	異音（風切音）がする	排気が強すぎる	排気が弱すぎる	照明器具が点灯しない	フード上昇が早すぎる	フードが自然下降する	
各部品の装着不良		○	○	○			○	○	本書に従った装着をする
オイルキャッチャー入れ忘れ				○			○		所定の量（2袋）のオイルキャッチャーを入れる
各部品が極度に汚れている		○					○	○	各部品を洗浄する
電気が通電していない						○			漏電ブレーカーを点検する 電気事業者に点検・修理を依頼する
電源コネクタが抜けている						○			スイッチOFFの状態のコネクタを差し込む
電球の寿命						○			規定の電球と交換する
排気ファンが作動していない	○					○			排気ファンを正常に運転させる 排気系統の調整・清掃を行う
空調機器の送風による横風		○							設備事業者へ点検・調整を依頼する 送風機の吹出し向きの調整をする

以上の処置を施したあとも、改善されないときは、ご自分で修理されないで、お買い求めの販売店または、もよりの当社支店・営業所・出張所へご連絡ください。

離隔距離について



アフターサービスについて

◆ 保証書について

- ▽ 別に添付の保証書に明示してある期間および内容にて、当社製品の故障について無料修理させていただきます。
- ▽ 保証書をお受けになるときは、必ず『ご使用の開始日』『販売店名』『担当者名』が記入されていることをお確かめになり、保証書に記載の保証規程をよくお読みいただき、いつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

◆ 保証期間経過後の故障修理について

- ▽ 保証期間経過後の故障において、修理・調整によって当社製品の性能が維持できる場合、ご希望により有料にて修理・調整させていただきます。

◆ 補修用性能部品の最低保有期間について

- ▽ 補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後7年間です。

◆ アフターサービスなどについてわからないとき

- ▽ アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お買い上げの販売店または、本取扱説明書の裏表紙に記載の、もよりの当社支社・支店・営業所・出張所に、お問い合わせください。

◆ アフターサービスを依頼されるとき

- ▽ 『故障かな?』と思われる点がございましたら、アフターサービスを依頼される前に、まず『故障・異常の見分け方と処置方法』のページをご確認ください。確認後も異常があるときは、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店または、もよりの当社支社・支店・営業所・出張所へご連絡ください。

- ▽ アフターサービスを、お申し付けのときは次のことを、お知らせください。

- (1) お名前・ご住所・電話番号
- (2) 型式名・ガスの種類・製造番号(キャビネットに貼付の銘板に表示)・部品名・部品番号
- (3) 故障・異常の内容および現象
- (4) 訪問希望日

◆ 機器の移設などについて

- ▽ ガスの種類の異なる地域に機器を移設する場合やお客様の都合で、ガスの種類を変更する場合は、改造および調整の必要があります。必ず、お買い上げの販売店または、もよりの当社支社・支店・営業所・出張所もしくは、移設先のガス会社(ガス事業者)にご相談ください。

- ▽ 増改築などのために機器を移動される場合、移設には専門の技術が必要になります。必ず、お買い上げの販売店または、もよりの当社支社・支店・営業所・出張所へご連絡ください。

- ▽ 移設などによる調整や改造の費用は、保証期間内であっても有料となります。

◆ 消耗部品について

- ▽ 弊社では、保証期間1年以内の故障について無料修理の対象としていますが、消耗部品については保証の適用外となります。(保証書を参照)

- ▽ ただし、消耗部品はAとBに区別されており、消耗部品Aについては保証適用外となりますが、消耗部品Bについてはご購入後1年以内でかつ、使用時間1800時間(1日あたり6時間、1ヶ月25日として1ヶ月150時間)以内であれば無料保証の対象になります。

- ▽ ただし、本書のほか本体貼付ラベルなどの注意事項に従った正常な使用状態での故障について適用されます。

部材品 FAX ご注文シート

貴店名： _____ 様

このページはコピーして、ご使用ください。

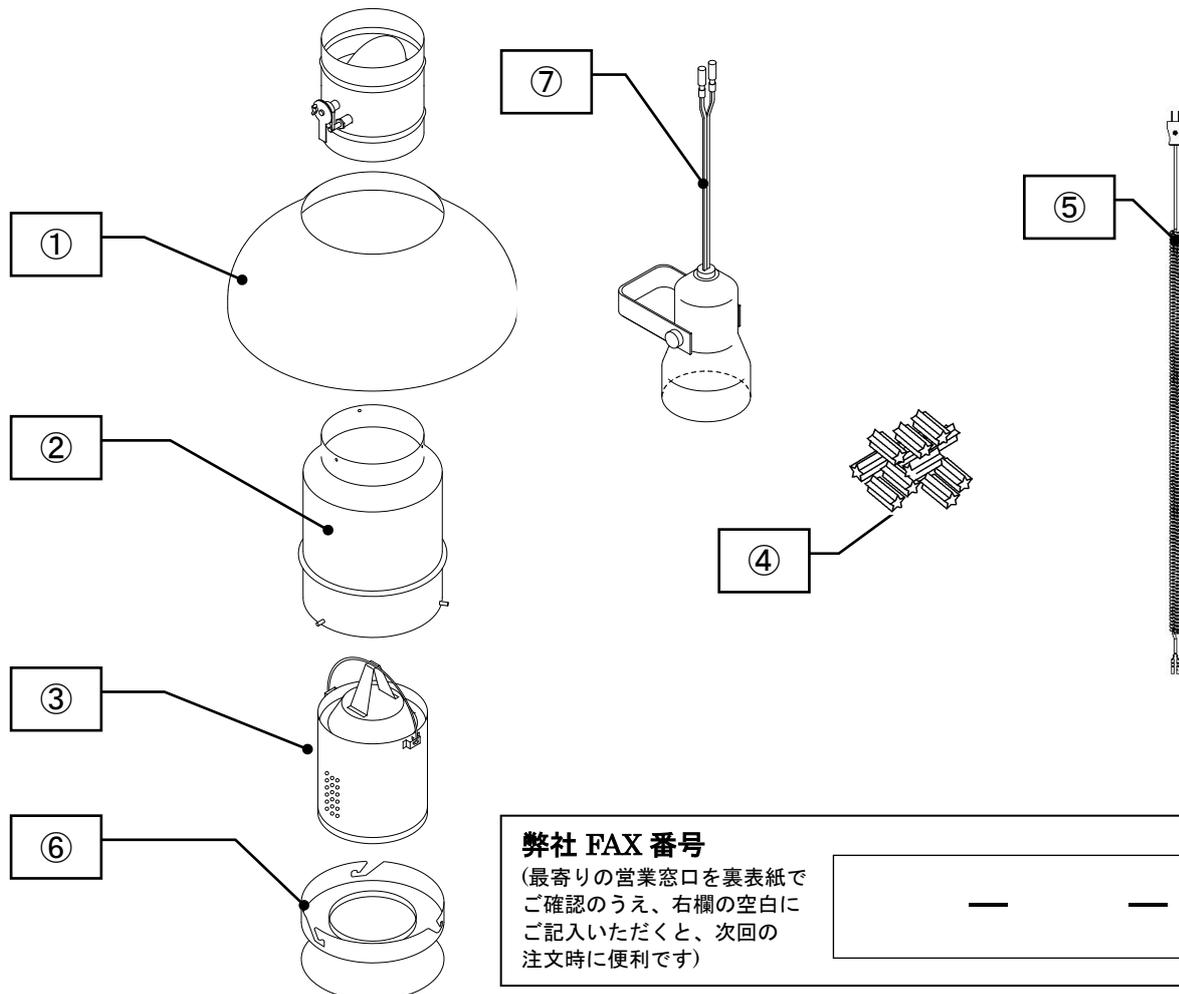
お電話番号： _____

No.	部品名称	価格	ご注文数	No.	部品名称	価格	ご注文数
①	ロアフード	¥30,000					
②	アッパーフード	¥15,000					
③	フィルタセット	¥25,000					
④	オイルキャッチャー(約 15 回分)	¥13,000					
⑤	カールコード	¥5,000					
⑥	油受け	¥6,000					

価格には消費税は含まれておりません。価格は 2017 年 4 月現在のものです。

1 回のお買い上げ合計金額が ¥15,000 未満 (税別) の場合は、別途送料を申し受けます。

※1=焼網は各種取り揃えていますので、ご注文時に種類をお問い合わせいただいて、価格をご確認ください。



弊社 FAX 番号

(最寄りの営業窓口を裏表紙で
ご確認のうえ、右欄の空白に
ご記入いただくと、次回の
注文時に便利です)

—	—
---	---

無煙ロースターータルシステムプロダクツ



問い合わせ先

スマートフォン等で
右側のQRコードを読み取ってください。



24時間365日メンテナンス受付
ベストサービス24

夜間・休日緊急専用 フリーコール

0120-33-2231

販売代理店